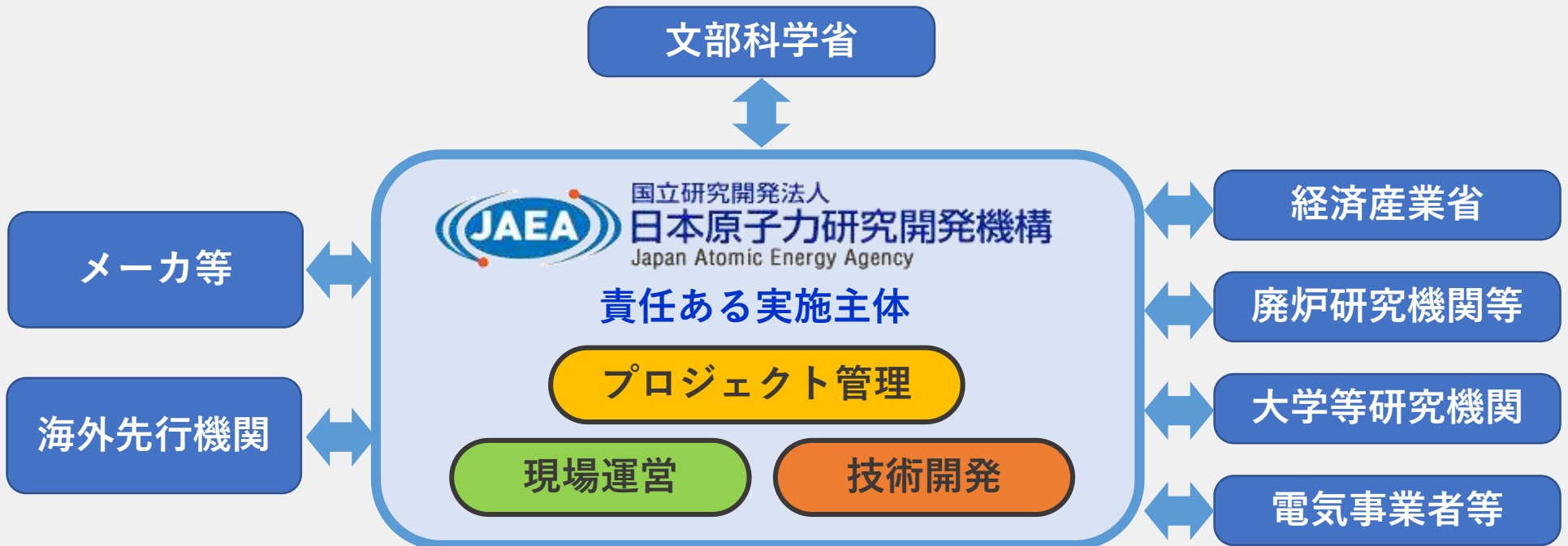


体制と技術開発 －プロジェクト管理体制－

- 廃止措置は、施設のライフサイクルを適切に完結させるための最後のハードル
(核燃料サイクルを確立する上で不可欠で極めて重要な取り組み)
- また、多くの開発要素を含む長期大規模プロジェクト
 - ・ 廃棄物の処分に至るまでの長期間の連続性・整合性の確保
 - ・ 事業/知識の連続性の確保 (時間軸に沿ったリスク管理)
 - ・ 革新的技術による期間短縮、コスト低減
 - ・ 資金の確保 (意義の国民理解)



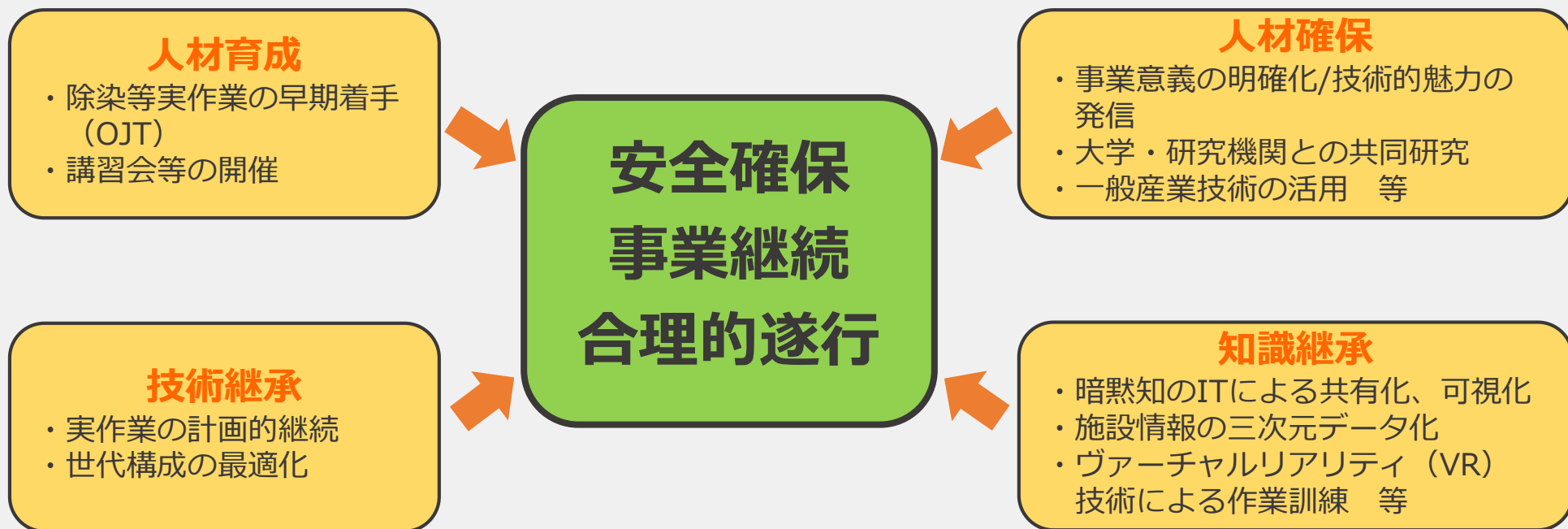
－ 人材育成・技術継承 －

○再処理施設の廃止措置を安全かつ着実に実施するため、高い専門性を持つ幅広い分野の人材が重要

➡ 専門知識や技術・技能を維持・向上させるための教育訓練による技術者確保

➡ 資格取得※を奨励し、必要な有資格者を確保

※核燃料取扱主任者、第1種放射線取扱主任者、技術士（原子力・放射線部門）等



－ 技術開発 －

(1) 解体準備期間

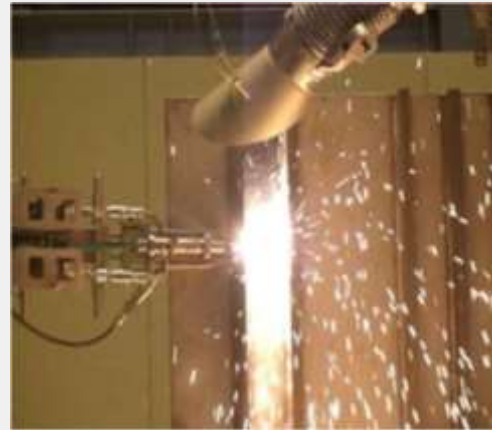
- ① 設備・機器の除染技術
- ② 設備・機器の汚染状況把握等に係る測定・分析技術

(2) 機器解体期間

- ① 設備・機器の解体技術
- ② 遠隔技術
- ③ 放射性廃棄物の減容・安定化処理技術
- ④ 廃棄体検認等に係る測定技術

(3) 管理区域解除期間

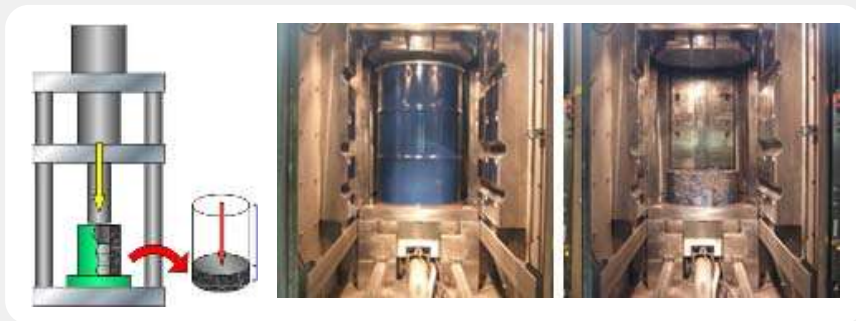
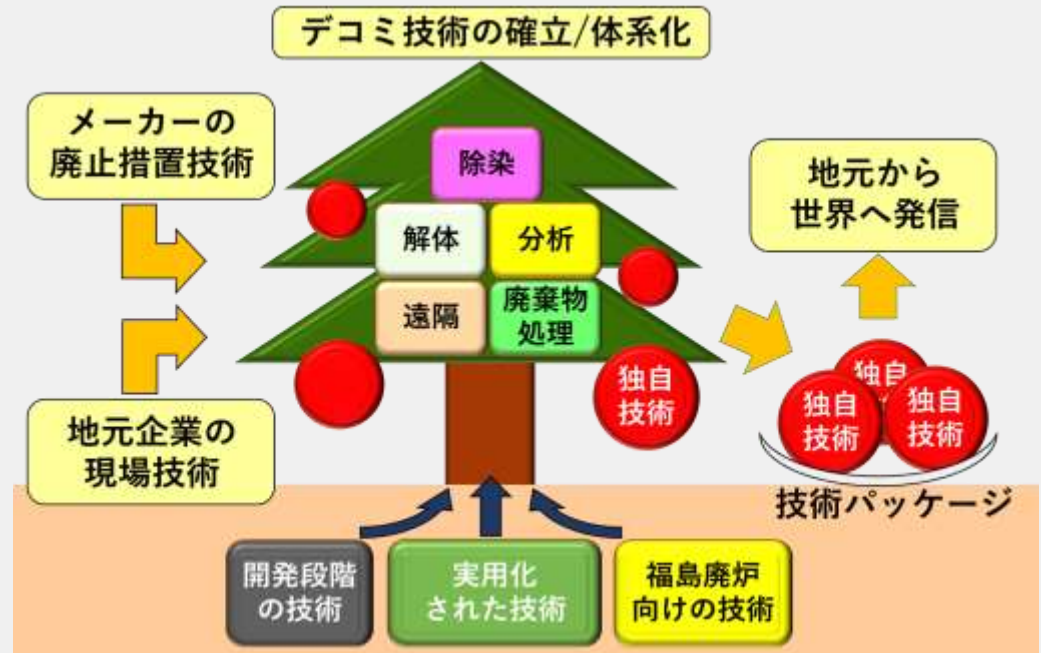
- ① 建家の汚染除去技術
- ② クリアランス技術



レーザー切断



遠隔除染



高線量固体廃棄物（ハル）の圧縮減容処理